

受 験 番 号
※

活動記録報告書②（生徒会活動・学校外での諸活動等）

フリガナ 氏名	
------------	--

※印の欄には何も記入しないこと。

黒のペン、またはボールペンで、ていねいに、かつ正確に記入。

II. 生徒会活動・学校外での諸活動等

★期間によって頻度が異なる場合は、期間を分けて記入すること。

活動分野	↓“クラス運営”“生徒会活動”“ボランティア活動”など、活動を端的に示す名称を、志願者本人が考えて記入する。																														
活動期間／頻度 ★	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%;">年</td><td style="width: 10%;">月</td><td style="width: 10%;">日</td><td style="width: 10%;">～</td><td style="width: 20%;">年</td><td style="width: 10%;">月</td><td style="width: 10%;">日</td><td style="width: 10%;">／</td><td style="width: 10%;">週</td><td style="width: 10%;">回</td> </tr> <tr> <td>年</td><td>月</td><td>日</td><td>～</td><td>年</td><td>月</td><td>日</td><td>／</td><td>週</td><td>回</td> </tr> <tr> <td>年</td><td>月</td><td>日</td><td>～</td><td>年</td><td>月</td><td>日</td><td>／</td><td>週</td><td>回</td> </tr> </table>	年	月	日	～	年	月	日	／	週	回	年	月	日	～	年	月	日	／	週	回	年	月	日	～	年	月	日	／	週	回
年	月	日	～	年	月	日	／	週	回																						
年	月	日	～	年	月	日	／	週	回																						
年	月	日	～	年	月	日	／	週	回																						
活動内容	↓生徒会などの活動（クラス委員長、全校生徒会の役職など）、学校外での諸活動（ボランティア活動など）の詳細を記入する。																														
資料番号																															

本人記入 ここまで

学校もしくは関係機関の証明 ここから **押印後、厳封してください**

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

学校名・機関名 _____ TEL _____ — — _____

FAX _____ — — _____

E-mail _____

記入・捺印日 20 年 _____ 月 _____ 日 学校長名・責任者名 _____ 印

活動記録報告書②（生徒会活動・学校外での諸活動等）

記入例

フリガナ 氏名	オオクマ シゲノ 大隈 重信
------------	-------------------

黒のペン、またはボールペンで、ていねいに、かつ正確に記入すること。
※印の欄には何も記入しないこと。

Ⅱ. 生徒会活動・学校外での諸活動等

★期間によって頻度が異なる場合は、期間を分けて記入すること。

活動分野	↓「クラス運営」「生徒会活動」「ボランティア活動」など、活動を端的に示す名称を、志願者本人が考えて記入する。 平和活動
活動期間／頻度 ★	2018年 4月 1日 ～ 2020年 8月 31日 / 週一回毎日 年 月 日 ～ 年 月 日 / 週 回 年 月 日 ～ 年 月 日 / 週 回
活動内容	↓生徒会などの活動（クラス委員長、全校生徒会の役職など）、留学、学校外での諸活動（ボランティア活動など）の詳細を記入する。 私は核兵器廃絶を訴える平和活動を継続して実施してきました。平和について考え意見を交わすという理念の部分、またボランティア等を経験する実践の部分の両面が私にとっての平和活動となっています。 まず理念の部分です。私は高校生平和大使に選ばれ、国連欧州本部を訪問しました。そこでは各国の代表者と意見交換をし、平和な世界のためにできることを相互に議論しました。日本政府主催の被爆70周年シンポジウムにも参加しました。事前に市民の意見を聴き、今後どのような論点を大事にしていけばよいのかを発言しました。決して終わりのない問題であり、大学に入学した後も、絶えず問い続けていきたい点です。 また実践の部分は普段の生活のなかで続けてきました。災害発生時には各地域に出向き、可能な限りボランティアに参加してきました。高校3年間で全国20か所以上でボランティアに参加してきました。被災地との学習交流の企画、運営、記録も定期的に行なってきました。現場での実体験が平和について考える原動力となっています。
資料番号	7

本人記入 ここまで

学校もしくは関係機関の証明 ここから 押印後、厳封してください

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。	
学校名・機関名 <u>東京都私立早稲田社会科学高等学校</u>	TEL <u>03-5678-1234</u>
	FAX <u>03-5678-1234</u>
	E-mail <u>wasedasyagaku@wasedasyagaku.jp</u>
記入・捺印日 20 <u>20</u> 年 <u>8</u> 月 <u>15</u> 日	学校長名・責任者名 <u>小野 梓</u>